

(決算)

第26条 この法人の事業報告書、財産目録、貸借対照表及び収支計算書は、毎会計年度終了後2月以内に会長において作成し、監事の監査を経てから、理事会の認定を得、評議員会の承認を受けなければならない。

2 前項の認定を受けた書類及びこれに関する監事の意見を記載した書面については、各事務所に備えて置くとともに、この法人の会員及び法人が提供する福祉サービスの利用を希望する者その他の利害関係人から請求があった場合には、正当な理由がある場合を除いて、これを閲覧に供しなければならない。

第8章 公益を目的とする事業

(種別及び運営管理)

第30条 この法人は社会福祉法第26条の規定により、次の事業を行う。

(1) 石岡市農村高齢者センターの受託経営
(収益がでた場合の処分)

第31条 前条の規定によって行う事業から収益が生じた場合は、社会福祉事業又は公益事業に充てるものとする。

第9章 収益を目的とする事業

(収益の処分)

第33条 前条の規定によって行う事業から生じた収益は、この法人の行う社会福祉事業又は公益事業（社会福祉法施行令（昭和33年政令第185号）第1条に掲げるものに限る。）

(決算)

第26条 この法人の事業報告書、財産目録、貸借対照表及び収支計算書は、毎会計年度終了後2月以内に会長において作成し、監事の監査を経てから、理事会の認定を得、評議員会の承認を受けなければならない。

2 前項の承認を受けた書類及びこれに関する監事の意見を記載した書面については、各事務所に備えて置くとともに、この法人の会員及び法人が提供する福祉サービスの利用を希望する者その他の利害関係人から請求があった場合には、正当な理由がある場合を除いて、これを閲覧に供しなければならない。

第8章 公益を目的とする事業

(種別及び運営管理)

第30条 この法人は社会福祉法第26条の規定により、次の事業を行う。

(1) 石岡市農村高齢者センターの管理・経営
(剰余金が出た場合の処分)

第31条 前条の規定によって行う事業から剰余金が生じた場合は、社会福祉事業又は公益事業に充てるものとする。

第9章 収益を目的とする事業

(収益の処分)

第33条 前条の規定によって行う事業から生じた収益は、この法人の行う社会福祉事業又は公益事業（社会福祉法施行令（昭和33年政令第185号）第4条及び平成14年厚生労働省告示第283号に掲げるものに限る。）

社協 アルバム

Album



第2回
石岡市高齢者
ゲートボール
大会

H19.6.4

ナイスショット！

石岡市内全域より11チーム
65名の方々が参加しました。
〔鹿の子健康広場〕

運動指導 事業

H19.4～

年齢を感じさせない 動きと笑顔

65歳以上の高齢者を対象に
木村幸子先生を招き10回の
体操教室を実施中です。

〔ふれあいの里石岡まわりの館〕

